



令和4年度の学力向上対策の取組はこちらです

県教育委員会では、児童生徒の学力向上を佐賀県教育の最重要課題として捉え、教師の指導力向上による授業改善に取り組んでいます。令和4年度は、次の4つの取組に重点ポイントを加えて、児童生徒の学力向上に向けた取組の推進をお願いします。

1 全職員による共通理解と共通実践

- ・全職員で、学力向上対策評価シートの課題解決に向けた取組内容を共通理解
- ・学年や教科の壁を越え、取組内容を全職員で共通実践



2 学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践

- ・授業改善リーフレットの活用の徹底
- ・児童生徒が主体的に取り組む授業による学習内容が分かる授業、力がつく授業の実践

3 授業改善に向けた校内研修等の充実

- ・課題解決に向けた教材研究や評価問題作成などの研修会の一層の充実
- ・日々の指導状況や児童生徒の理解度の振り返りを確実に実施

4 家庭学習の充実に向けた指導の徹底

- ・PTAとの協働による『家庭学習の手引き』の活用の徹底
- ・家庭における適切な学習時間の確保
- ・家庭学習の進め方の指導や内容の工夫改善

【令和4年度 重点ポイント】

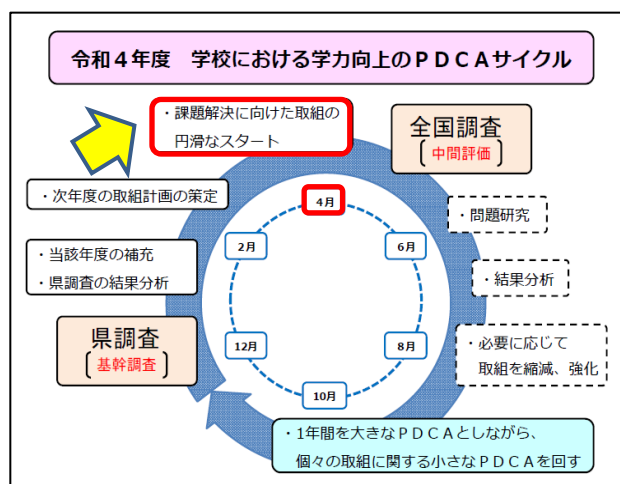
- ・単元のまとまりを意識した授業の充実（調査問題の活用等）
- ・デジタル教材等を活用した個別最適な学びの保障
- ・「授業づくりのステップ1・2・3」動画等を活用し、教科等の枠を超えた研修と実践

PDCA サイクルを意識した取組を進めていきましょう！

学校における学力向上のPDCAサイクルにおいて、この時期は、新体制のもと、全職員で取組内容を共通理解するとともに、必要に応じて修正や追加を行った上で、共通実践をする時期です。

また、全職員で組織的に取り組んだ指導の成果を検証する機会が、4月と12月の学習状況調査です。両調査とも、その間の取組等を評価する機会となることから、その評価を踏まえ、取組の改善が必要なものを洗い出し、必要な対策を講じることで、ステップアップを図っていくことが大切です。

今年度もPDCAサイクルを踏まえ、継続と徹底を念頭に置いて子どもたちへの指導支援をお願いします。



全国学力・学習状況調査（全国調査）が実施されます

全国調査は、「学校における学力向上のPDCAサイクル」の中で、中間評価の位置づけとなっています。調査の実施について、スケジュールや実施体制をもう一度確認の上、遺漏がないようお願いいたします。本調査の結果を活用して、**教育指導の充実や子どもたち一人一人への学習内容の確実な定着と必要な資質・能力の育成**を目指しましょう！

◆調査実施日 令和4年4月19日（火）

◆調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

◆調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年

◆調査内容

○教科に関する調査

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

○生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

◆令和3年度からの変更点

○教科に関する調査

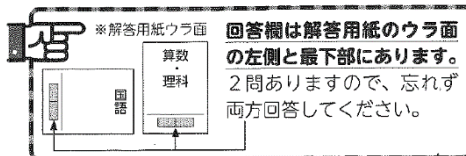
実施教科が、2教科から**3教科**に変更となる。

令和3年度：国語・算数・質問紙 → 令和4年度：国語・算数・**理科**・質問紙

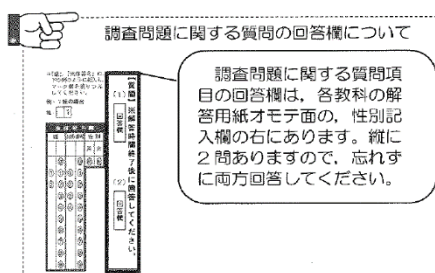
○調査問題に関する質問項目

令和4年度は、各教科の調査問題に関する質問項目を**各教科に関する調査の解答時間終了直後**に回答する。

→詳細については、「【小学校】調査マニュアル」(p.24)、
「【中学校】調査マニュアル」(p.28)を必ず御確認ください。



【小学校】調査マニュアル



【中学校】調査マニュアル

◆児童生徒質問紙調査オンライン実施について（一部の学校）

オンライン実施日 令和4年4月19日（火）～28（木） ※27日、28日は予備日

※各学校ごとにあらかじめ決定した実施日

一部の学校で、学校PC・タブレット等の端末を活用したオンラインによる回答方式で実施
→オンライン実施校の調査責任者及び学校担当者・教室監督者は事前に送付される「児童生徒質問紙オンライン実施マニュアル」を熟読し、調査の実施手順や方法を御確認ください。

単元デザインを踏まえた日々の授業実践に取り組みましょう

県教育委員会では、今後の学力向上に向けた取組の一つとして、単元（題材）を意識し、単元を見通した授業改善の推進を挙げています。学習指導要領においても、身に付けさせる資質・能力を踏まえた単元デザインと授業実践に関わることとして、**単元や題材などの内容や時間のまとまりの中で授業改善を行うこと**が示されています。年度当初に、単元デザインを踏まえた各教科の年間計画の作成を行うようにしましょう。また、国、算・数、社、理、英の諸調査問題を単元の中で教材や評価等として組み込む、デジタル教材等を活用する等、学力向上に向けた取組の推進につなげていきましょう。

単元を意識し、単元を見通した授業改善に向けたポイントを紹介します。

- **単元などのまとまり**の中で、「何ができるようになるか」を明確にしなが、**「何を学ぶか」という学習内容**と、「どのように学ぶか」という**学習過程**を大切にする。
- 学習指導要領に示された内容を教師が適切に解釈し、その趣旨を理解した上で、子どもたちの興味・関心等に応じた、最適な学習活動を単元として構成し、**指導と評価を一体**としていく。
- 調査問題（県調査、全国調査）も活用しながら、児童生徒に必要な**資質・能力の育成**や**定着状況**を確認し、**教員の指導改善**に生かす。

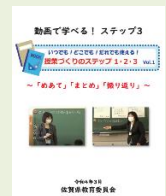
動画 DVD を活用し日々の授業改善に取り組みましょう

県教育委員会では、授業改善リーフレット「授業づくりのステップ1・2・3（Vol.1）」を踏まえた動画 DVD を作成し、各市町教育委員会等に配布しています。この動画 DVD では、平成 29 年 2 月に発行した「授業づくりのステップ1・2・3（Vol.1）」の**「めあて」「まとめ」「振り返り」**の3つのポイントに焦点を当て、**ステップ3**を踏まえた具体的な授業づくりを紹介しています。

各学校等において動画 DVD を活用し、学力向上に向けた校内研修等の充実を図り、教員の指導力向上と授業改善の実践の推進につなげていきましょう。なお、動画 DVD の詳細については、各学校等にお知らせしていますので御確認ください。

【活用例】

- **各学校における校内研修**（初任者への研修を含む）において活用し、校内研修の活性化による全ての教員の授業改善を目指す。
- **各中学校区における研修**において活用し、小中による指導の連続性を踏まえた授業づくりを目指す。



「学力向上だより」についての感想などをお聞かせください。

「第〇号のあの記事が参考になった」、「こういった内容を取り上げてほしい」など、先生方の感想や御意見をぜひお聞かせください。お待ちしております。

また、「私の取組紹介」のコーナーでは、先生方の実践や授業アイデアを随時募集しています。自薦、他薦は問いません。どうぞお気軽に！

どちらも次のアドレスまで送信ください。 【アドレス】 gakuryoku-k@pref.saga.lg.jp